

移住・定住の支援

アナ： 「市長が語る 2025 三島」 第12回の今日は、「移住・定住の支援」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： それでは早速ですが、令和7年度の取組について教えてください。

市長： 新規の取組としては、移住を検討されている方に対して、タクシーによる市内案内を始めました。申込時に市内で巡ってみたい場所をお伺いし、移住後の生活をイメージできるように、市の職員が同行してご案内いたします。その他、三島市移住アンバサダーの皆さんによる、ラジオ番組もスタートしました。移住アンバサダーの取組や、移住者目線での地域の魅力について発信していただきます。

アナ： 移住アンバサダーのラジオ番組は、毎月第2、第4月曜日の12時45分からの10分間、「三島市移住アンバサダーのマンデージャム」になります。また、アンバサダーの皆さんとの自主的な取組として、「るーとみしま」というアカウントで、YouTubeでの発信もされているそうですので、要チェックですね。

市長： はい。移住アンバサダーの皆さんをはじめ、三島を大変気に入ってくれたり、移住後も様々な地域活動やイベントを自ら企画したり、関わってくださるシビックプライドの高い皆さんが多くて、とてもありがたいですね。

アナ： 本当ですね。そのような移住者を増やすための市の補助制度はありますでしょうか。

市長： はい、国・県・市が共同で実施しております「移住・就業支援補助金」では、東京圏から三島市へ移住をされた方で、所定の働き方に当てはまる場合に対象となる補助となっております。単身で60万円、2人以上の世帯で100万円、さらに、18歳未満のお子様1人につき100万円上乗せで支給いたします。様々な要件がありますので、HPをご覧いただき、詳しくは担当課にお問い合わせください。

アナ： さらに、住宅を取得した場合の補助金もあると伺っております。

市長： その通りです。

三島市独自の取り組みとして、住宅取得に対する補助金である「住むなら三島移住・定住サポート事業費補助金」では、若い世帯が中古住宅を取得した場合も補助の対象となるよう令和6年度から制度を拡充しました。

補助金額は、条件によって異なりますが、例えば、県外から移住した若い世帯が住宅を取得した場合には最大で100万円を支給いたします。

また、「三島市移住・子育てリフォーム事業費補助金」でも、

中古住宅の取得に伴うリフォーム工事の補助金額を上乗せし、最大で50万円を支給できるよう制度を拡充し、住宅取得のサポートを一層強化いたしました。

アナ： 金額が大きな補助制度ですので、利用を希望される場合には、必ず事前に条件をご確認いただきたいですね。

市長： そうですね。

最後になりますが、三島市への移住・定住の取組において、最も大切なことは、実際に暮らしている市民の皆様が、「三島で生まれてよかったです、育ってよかったです、暮らしてよかったです」と感じていただけることだと思っております。

引き続き、移住先として「選ばれるまち」を目指すことと同時に、市民の皆様が「誇れるまち」であるよう努めてまいります。

アナ： 「三島で生まれてよかったです、育ってよかったです、暮らしてよかったです」に私も同感です。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。

アナ： 移住に関するご相談や就業の補助金については政策企画課、住宅取得の補助金については住宅政策課までお問合せください。